

# 伊万里市議会だより

平成29年(2017年) 第60号2月



串  
から

◀ 申相撲(二里)

酒

12月補正額  
14億863万2千円

予算総額  
271億14万4千円

(前年比+9.4%)



▲取り追うまつり(二里)

文化と継承

## 平成28年伊万里市議会第4回定例会 会期日程

12月

12月2日～21日 20日間

日	種別	内容
2(金)	本会議	開会 会議録署名議員の指名 会期の決定 市長提出議案等 25件・・・一括上程 市長提出議案等の提案理由説明
6(火)	本会議	議案等に対する質疑
7(水)	本会議	議案等に対する質疑 議案の常任委員会付託
8(木)	休会	特別委員会（地方創生）
9(金)	休会	特別委員会（防災・環境施設）
12(月)	本会議	一般市政に対する質問
13(火)	本会議	一般市政に対する質問
14(水)	本会議	一般市政に対する質問 市長提出追加議案の上程・・・1件 市長提出追加議案の提案理由説明 市長提出追加議案に対する質疑 追加議案の常任委員会付託
15(木)	休会	常任委員会
16(金)	休会	常任委員会
20(火)	休会	正副委員長会
21(水)	本会議	意見書案 1件・・・一括上程 意見書案の提案理由説明 意見書案に対する質疑 常任委員会報告 常任委員会報告に対する質疑 特別委員会中間報告 特別委員会中間報告に対する質疑 議案の付議順序により討論、採決 閉会

## 新年あいさつ

お健やかに、新たな年を  
お過ごしのこととお慶び申し上げます。

本年も議会に対して暖かく、時には厳しく見守って頂きますよう、お願い申し上げます。

昨秋、西ロータリークラブが主催された高校生議会では、24名のフレッシュな議員が郷土の未来について素晴らしい提言と、選挙や政治に関わる決議をされました。

そのメンバーをここにご紹介します。

（発言順、敬称略）

- ・伊万里農林高校  
犬塚千聖、山口世莉華、古賀太啓、西山翔
- ・伊万里商業高校  
前田紫乃、迎 怜奈、久間龍晟、中井航世
- ・敬徳高校  
杉山澄怜、吉永千夏、山口優樹、牧瀬宏陽
- ・有田工業高校  
片岡考太、目黒未愛、本山裕介、井河七瀬
- ・伊万里特別支援学校  
富永瑠美、瀬戸ゆい、田中鼓鈴、樋渡和希
- ・伊万里高校  
小島光慈、岩崎夕実、山口穂光、樋渡藍華



伊万里市議会議長  
盛 泰子

## 意見書

以下の意見書が全会一致で採択され、関係機関に送付されることになりました。  
**地方議会議員の厚生年金への加入に関する意見書**

〈提案理由〉

国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を早急実現するよう強く要望する。



新年をお健やかに  
お迎えのこととお慶  
び申し上げます。  
議員は年賀状など  
の時候の挨拶状も、  
頂いた年賀状に対し  
て表裏とも自筆で書  
いたもの以外は禁止  
されています。  
皆様のご理解をお  
願い申し上げます。

お知らせ

**総務委員会**

★所管 総務部、政策経営部、市民部(戸籍・住民登録等)、出納室、選挙管理委員会、監査委員、他の委員会に属しない事項

当委員会に付託されました条例議案4件、一般議案1件、予算議案1件、について審議の結果、原案通り可決・承認すべきものと決定いたしました。主な内容は次の通りです。

**【条例議案】**

◆議案甲第40号 伊万里市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について(人事院勧告等に基づく県職員の取り扱いに準じ改定します。)

- \*給与月額を平均0.06%引き下げる。
- \*勤勉手当年間支給月数を0.1月引き上げる。
- \*配偶者に係る扶養手当額を平成29年4月から10,000円に引き下げ、平成30年4月からさらに6,500円に引き下げる。

◆議案甲第41条 伊万里市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について(人事院勧告等に基づく国の指定職、県の特別職の取り扱いに準じ改定します。)

- \*期末手当年間支給月数を0.1月引き上げる。

◆議案甲第42号 伊万里市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例制定について(雇用保険法の改正に伴う文言の修正を行います。)

◆議案甲第43号 伊万里市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について(人事院勧告等に基づく国の指定職、県の特別職の取り扱いに準じ改定します。)

- \*期末手当年間支給月数を0.1月引き上げる。

**【一般議案】**

◆議案甲第54号 専決処分の承認を求めることについて(平成28年度一般会計補正予算(第8号))

**【補正予算議案】**

◆議案乙第44号 平成28年度伊万里市一般会計補正予算(第9号)

○バス交通支援事業(大川町小さな拠点づくり事業費補助金) ……550万円  
過疎地域等自立活性化推進交付金を活用

し、大川町コミュニティ運営協議会が実施及び運行主体となる地域バスの車両整備費や運行拠点の改修費等に対して補助します。

\*運行開始予定 平成29年10月

○地域まちづくり拠点施設整備支援事業 ……1,000万円

過疎地域等自立活性化推進交付金を活用し、楠久・津まちづくり実行委員会が実施するまちづくり拠点施設の整備費やまちづくりガイドブックの作成費用に対して補助します。(旧佐賀銀行楠久出張所跡を町並み案内所、集会所等として整備する費用等へ補助します。)

○市民会館改修事業 ……380万2千円  
市民会館ホールの舞台幕が経年劣化により使用不能となったため、購入します。

○消防団施設整備支援事業 ……7万5千円  
東山代分団第1部(東山代町里区)の小型動力ポンプ積載車格納庫の補修費の一部を補助します。

○消防用施設管理事業 ……5万円  
南波多町笠椎区の防火水槽の補修費の一部を補助します。

**【質疑】**

- \*防火水槽の管理について
- \*市民会館の維持管理について
- \*コミュニティバスの運行について

**●現地調査**



現地視察 移住定住体験事業

移住を希望する人に伊万里市での生活を体験してもらう施設で、2泊以上30泊まで、無償で利用できます。

◎松尾 雅宏 ○力武 勝範  
盛 泰子 中山 光義 前田 敏彦  
馬場 繁 副島 明 渡邊 英洋

## 文教厚生委員会

★所管 市民部（保健・福祉・環境・人権同和）、教育委員会

当委員会に付託されました条例議案5件、補正予算議案4件について審査の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

その主な内容は下記のとおりです。

◆議案甲第45号 手数料条例の一部を改正する条例について

平成29年度から介護予防サービスのうち通所介護及び訪問介護が「新しい介護予防・日常生活支援総合事業」へ移行して指定・監督者が市に移ることによる事業所の指定・更新申請の審査に係る手数料を追加するもの。この制度移行により新たな事務の増加が見込まれるため、必要な職員及び専門員を確保し円滑な事業実施を図るよう求めた。

◆議案甲第46号 子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

平成29年4月から小中学生の医療費の助成額を1医療機関あたり一月1,000円に改定するとともに、助成方法を原則、現物給付に変更するもの。

◆議案甲第47号 伊万里市立幼稚園条例の一部を改正する条例制定

平成29年4月に波多津東幼稚園を黒川幼稚園に統合するもの。

◆議案甲第48号 指定管理者の指定

伊万里休日・夜間急患医療センターの指定管理者を一般社団法人伊万里・有田地区医師会に指定を行うもの。

◆議案甲第51号 専決処分の承認

地方自治法第179条1項の規定により、市内中学校での部活動中の事故の損害について親権者と和解し、損害賠償額を専決処分したものの。

◆議案乙第44号 平成28年度伊万里市一般会計補正予算（第9号）

○避難行動要支援者支援事業 ……522万3千円  
災害対策基本法の改正により作成が義務付けられた「避難行動要支援者名簿」の情報管理等を円滑に行うためのシステム構築を行うもの。システムの運用にあたっては、災害時における実効性を確保するため、名簿の事前提供について予め掲載者に同意の取得に努めるよう求めた。

○身体障害者更生医療給付事業 ……1,899万2千円  
障害の改善や機能維持のために受ける医療給付の件数及び給付額が増加しているため扶助費等を増額するもの。

○経済対策臨時福祉給付支給事業  
……………1億9,251万9千円

消費税率の8%への引き上げによる低所得者への影響を緩和するため、市内対象者約12,000人に対し1人につき15,000円の臨時福祉給付金を支給するもの。

○保育対策総合支援事業 ……800万円  
私立保育所に対し、保育士の業務負担を軽減するための保育業務支援システム及び事故予防等のためのビデオカメラ導入に係る費用の一部を補助するもの。

○公立幼稚園管理運営事業（波多津東幼稚園閉園記念事業費補助金） ……44万円

平成29年3月に閉園を予定している波多津東幼稚園の閉園記念事業に要する経費を補助するもの。

○波多津町「小さな拠点」づくり基幹拠点整備事業 ……3億6,550万円

波多津町を本市における地方創生「小さな拠点」づくりのモデル地区として位置づけ、基幹拠点施設となる波多津町コミュニティセンター<sup>\*1</sup>の建設を行うもの。

◆議案乙第46号 平成28年度伊万里市介護保険特別会計補正予算（第2号）

給与改定に伴う給与の補正のほか地域が主体となって取り組む介護予防活動や市民公開講座の開催費用経費を追加するもの。

【現地調査】

波多津公民館の施設管理及び波多津コミュニティセンター施設整備計画について、現地調査を行った。



現地視察 波多津コミュニティセンター建設予定地

その他、平成29年4月からそれぞれ統合される波多津東小学校、市立黒川幼稚園において、統合後の運営について説明を受けた。

◎梶山 太 ○東 真生  
岩崎 義弥 前田 邦幸 弘川 貴紀  
船津 賢次 前田 久年 樋渡 雅純

※1 波多津コミュニティセンター…社会教育施設であるとともに、まちづくり支援機能を付加した地域交通・地域活動・地域防災の拠点となる施設。

### 産業建設委員会

★所管 産業部、農業委員会、建設部、水道部

当委員会に付託されました条例議案3件、一般議案6件、予算議案4件、について審議の結果、原案の通り全会一致で可決すべきものと決定いたしました。主な内容は次の通りです。

#### 【条例議案】

- ◆議案甲第38号 伊万里市農業委員会委員候補者選定委員会条例制定について  
農業委員会等に関する法律の改正に伴い「選定委員会」を設置するため。
- ◆議案甲第39号 伊万里市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例制定について  
新たな農業委員会制度における委員等の定数を定める必要があるため。

#### 【一般議案】

- ◆議案甲第49号 路線の認定について  
新たに脇田24号線、東田代10号線、作井手4号線、南ヶ丘10号線、11号線、12号線を市道に認定するもの。
- ◆議案甲第55号 工事請負契約の締結について（伊万里市公共下水道事業伊万里市浄化センター機械設備更新工事）  
平成28年度及び平成29年度の継続事業で汚泥処理棟の汚泥脱水機を更新するもの。

#### 【予算議案】

- ◆議案乙第44号 平成28年度伊万里市一般会計補正予算(第9号)

#### ○農林水産業費

〈有害鳥獣対策事業〉 ……260万8千円  
イノシシ及びアライグマの捕獲頭数の増加に伴う補助金の増額  
市補助対象捕獲頭数  
イノシシ 3685頭（1頭当たり2,500円）  
アライグマ 145頭（1頭当たり1,000円）  
〈農地集積・集約化事業〉 ……230万円  
農業の生産性を高め、競争力を強化するため、農地中間管理機構を活用して農地の貸し借りをした個人に対する補助

〈農業用設備等導入支援事業〉 …1,161万5千円  
次世代を担う経営感覚に優れた担い手を育成・確保するため、経営発展に意欲的に取り組む際に必要となる農業用施設・機械の整備等に対する補助。

〈タマネギべと病緊急特別対策事業〉  
……………86万8千円  
タマネギに大きな被害を及ぼしている「べと病」の被害軽減や農家経営の安定を図るため、一斉防除に係る経費補助。

#### ○商工費

〈企業誘致総務事業〉 ……800万円  
伊万里団地に設置している3台のマンホールポンプが経年劣化し揚水能力低下や動作不良が生じているため、3台すべての取替を行うもの。

#### ○平成28年度特別会計補正予算

- ・公共下水道事業 ……1,990万円
- ・農業集落排水事業 ……△120万円

#### 【委員会による主な意見】

（意見）  
伊万里市農業委員会制度の改正においては、関係者への十分な説明を行い慎重に進められたい。

（質疑）  
立花台地の管理について



現地視察 有田川浄水場

- ◎香月 孝夫 ○井手 勲
- 多久島 繁 坂本 繁憲 山口 恭寿
- 松永 孝三 草野 譲 笠原 義久

## 地方創生調査特別委員会

### 1. 地方創生の取り組みについて

#### ○伊万里市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進について

推進部会を開催され、総合戦略等の進捗状況に関する説明、アクションプランの確認及び事業追加についての検討が行われた。

2月から3月にかけて各部会でローリング作業が行われる予定である。

#### ○地方創生に関する交付金の活用状況について

##### ①古伊万里の里ブラッシュアップ事業

外国人観光客受け入れのため、日本航空関係者を講師に招いた「観光おもてなし講座」の開催等が行われている。

##### ②都市と地方を結ぶ次世代人材育成によるクラウド型企業誘致事業

9月1日にPORTO3316imariが開設し、ドローンサミットin伊万里などが開催されている。

##### ③元気の出る人集め活動「ひと活」推進事業

8月から12月にかけて横浜、福岡のホテルにおいて伊万里フェアが開催されている。

### 2. 西九州自動車道の整備について

#### ○西九州自動車道の整備状況

10月の補正予算として、25億4700万円が追加されている。南波多谷ICから伊万里東IC（仮称）間は平成29年度開通に向けて、橋りょうの上部工や下部工などの工事の実施及び、取り付け道路等の整備が

予定されている。

#### ○3市1町西九州自動車道建設促進協議会要望活動

11月22日に、九州地方整備局への要望活動を行った。引き続き公共予算を安定的に確保していくためにも地元からの要望が重要であるとの説明があった。

11月24日に地元選出国會議員及び、自民党本部に、25日に国土交通省、財務省への要望活動を行った。地元選出国會議員への要望、意見交換の際には、地元の状況を伝え早期開通に向けた予算獲得について要望を行った。

### 3. 企業誘致について

(1)本年4月から11月末までの立地勧奨は、86社に対し延べ156回実施されており、10月以降はオフィス系企業誘致に係る関東地区の企業19社に対し重点訪問が行われた。

(2)七ツ島工業団地におけるバイオマス発電事業計画については、日本新電力株式会社に代わり株式会社伊万里グリーンパワーに各種権利等の地位承継が行われた。新たな事業計画により、平成29年3月の工事着工に向けた現地調査や、地元への説明会が計画されており、平成31年9月からの操業を予定されている。

◎渡邊 英洋 ○前田 敏彦  
力武 勝範 弘川 貴紀 井手 勲  
梶山 太 笠原 義久

## 防災・環境施設対策調査特別委員会

12月9日に委員会を開催しましたので、その結果について報告します。

### 1. さが西部クリーンセンターについて

平成28年佐賀県西部広域環境組合第2回定例会の報告があった。そのうち認定された平成27年度決算は、歳入総額78億6,145万3,384円、歳出総額77億49万1,050円で、本市の負担金は構成市町負担金総額の23.2%となる2億7,792万2千円であった。

### 2. 伊万里市の防災行政について

#### (1)防災訓練について

10月10日に実施された佐賀県原子力防災訓練では、大坪地区住民140名の参加による市外避難所への避難訓練やスクリーニング検査等の原子力災害医療対策訓練のほか、地震を想定した屋内避難訓練、緊急メール送信による広報訓練、安定ヨウ素剤配布訓練が実施された。また、12月18日には9月の台風接近により延期となっていた市防災訓練が黒川町で実施された。

#### (2)防災行政無線整備工事の進捗状況

災害時の情報伝達を目的として市全域に整備する防災行政無線の工事請負契約が、工事費8億7,480万円で日本コムシス・港電気商会建設共同企業体と締結され、12月1日から屋外拡声子局の建柱工事が開始されている。

### 3. 災害時における議会の対応について

これまでに委員会や研修会を開催し、災害時における市の対応、議会の役割、資料により他市議会事例等について議論をしてきた。その過程で、県内の先進事例調査として嬉野市議会へ行政視察を行った。本委員会では、今後、これまでの調査及び他市事例を参考にして災害対応指針策定に向けた議会の役割を明文化する作業を行っていく。

### 4. 主な意見及び質疑

#### (意見)

・市原子力災害避難計画において、要支援者の避難を確実、スムーズに行えるよう災害弱者を考慮した実効性のある計画へ見直しが必要である。また、市民の市外避難時の初動体制が確実に機能するよう、避難道路の整備や避難先の受入体制の整備等について、県へ積極的な働きかけを求める。

#### (主な質疑)

・佐賀西部広域環境組合一般会計における決算余剰金の処理について

・避難所における障害者用トイレの設置について

・市防災訓練における被災者台帳システム入力訓練の具体的内容について

◎前田 久年 ○坂本 繁憲  
岩崎 義弥 前田 邦幸 東 真生  
船津 賢次 樋渡 雅純

## 議会基本条例調査検討特別委員会

平成28年第2回定例会において設置されました本委員会は、12月21日に第2回目の委員会を開催しましたので、その結果について報告します。

この委員会に付託された案件について具体的な内容を検討するため、委員会の下部組織として立ち上げた作業部会（中山光義 部会長 他7名）より報告があり、その内容はこれまでに作業部会を10回開催し、議会基本条例（作業部会たたき台）案を作成した経緯と全体の解説、特にこだわりをもって作成した箇所の説明がありました。

第4回から第10回までの作業部会では、各委員が持ち寄った条例案をたたき台にして、自由な討議のもとで作成したとのこと。また、12月8日には福岡大学法科大学院の村上英明教授（法学博士）との意見交換を行ない、アドバイスを参考に検討されています。

前文では、議員個々の研さんによる議員力の向上と、議会全体の研さんによる政策形成機能等の向上を議会運営の両輪として位置づけていること。

第5条では、請願及び陳情を審査するにあたっては、提出者が意見を述べる機会を与えなければならないこと。

第6条では、市民と意見を交換する議会報告会等を開催すること。

第7条では、市長等は議員の質問に対して、質問の趣旨、内容の確認のための反問をすることができること。

第12条では、議長及び副議長の選挙を行なうときは、本会議場において所信を表明する機会を設けること。

第13条では、議員間相互の自由討議を保障しなければならないこと。

第19条では、大規模災害が発生したときの議会機能の保持の定めをしていること。

その他、議会基本条例は理念を定めた条例であり、その目標に向かって取り組むことが極めて重要である。

議会基本条例に必須の3原則（議会報告会の開催による市民との意見交換、市民の政策提言と位置付けた請願、陳情の提出者による意見陳述、議員間の自由討議）は当然盛り込んであり、その他にも伊万里市議会独自の表現を入れているとの説明があり、アドバイスをいただいた村上教授からは評価を得ているとのこと。

本委員会の今後の予定は、各委員から受けた質疑や意見を踏まえて、作業部会で検討を重ね、2月には市民からの意見を広く聴くためにパブリックコメントを行います。次回、第3回目には成案を整え、平成29年3月定例会で成立を目指したいと考えております。

議会基本条例調査検討特別委員会  
委員長 副島 明

### ■ パブリックコメント案内 ■

- ◆意見をお願いする資料：「伊万里市議会基本条例」
- ◆意見募集期間：2月1日（水）～2月20日（月）
- ◆案の公表先・入手先：
  - (1) 各町公民館
  - (2) 伊万里市議会 議会事務局
  - (3) 伊万里市民図書館
  - (4) 伊万里市議会ホームページ：<http://www.city.imari.saga.jp/gikai/>
- ◆意見の提出方法：意見は、住所、氏名（団体名）を明記のうえ、次のいずれかの方法により提出してください。
  - ①メー ル gikai@city.imari.lg.jp
  - ②郵便 〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町1355番地1「伊万里市議会事務局」
  - ③直接提出 案の公表先・入手先(1)、(2)または(3)
  - ④ファックス 22-1277
- ◆問合せ：伊万里市 議会事務局 23-2594

# 一 般 質 問 (質問順)

## 一般質問事項

議員名	質問事項	議員名	質問事項
弘川 貴紀 (一問一答)	1. 学校給食センター調理等業務委託について (1)方針決定に至る背景 (2)業務分担 (3)実施計画スケジュール (4)職員の処遇 (5)今後の手続 2. 職員採用試験について (1)今年度の結果 (2)多様な採用制度の活用	馬場 繁 (一問一答)	1. 高齢社会に向けた取組みについて (1)健康づくりの取組み (2)高齢者スポーツの推進 (3)地域交通の整備
松尾 雅宏 (一問一答)	1. 平成30年からの水田農業方針について 2. 暗渠排水について 3. 排水機場について 4. 乳児及び幼児の深夜救急診療体制について	梶山 太 (一問一答)	1. 新たな奨学金制度について (1)人材不足の業種 (2)保育士不足の現状 (3)介護士不足の現状 (4)奨学金による人材確保について 2. 定住促進について (1)本市の目玉施策 (2)3世代同居の促進について
山口 恭寿 (一問一答)	1. 市内小中学校に関する諸問題 (1)学校施設について (2)ICTについて (3)学校配当予算について 2. 人口減少問題に対する市の取り組み (1)婚活応援について (2)出生率について (3)定住政策について	力武 勝範 (一問一答)	1. 高病原性鳥インフルエンザの防疫対策について (1)伊万里市における防疫対策について (2)予防対策について (3)監視体制について (4)継続した今後の対策について 2. 水田の暗渠排水対策について (1)農業基盤整備促進事業の平成28年度の採択実績について (2)定額助成の見直しについて (3)農業基盤整備促進事業以外での暗渠排水工事について (4)今後の対策について
前田 邦幸 (一問一答)	1. 伊万里市職員の健康管理について (1)残業時間の現状について (2)健康管理について 2. 市道の維持管理について (1)交付金の活用状況について (2)市道における布設管の施工管理について (3)今後の維持管理について	坂本 繁憲 (一問一答)	1. 国民健康保険制度について (1)県単位の広域化について (2)赤字解消について (3)保険税滞納状況について 2. ごみ処理問題について (1)さが西部クリーンセンターについて (2)循環型社会づくりについて (3)30・10運動について
船津 賢次 (一問一答)	1. 蛍光管、電池などの分別収集について 2. 市営駐車場の駐車料金引き下げについて (高齢者の外出時の利便性向上) 3. 財政健全化判断比率改善の要因について	笠原 義久 (一問一答)	1. 伊万里駅バス停の移設問題について 2. 城山公園の整備、改修について 3. 博物館、美術館問題のその後
中山 光義 (一問一答)	1. 伊万里市の観光戦略について (1)伊万里市を訪れている観光客の推移と現状の施策について (2)西九州自動車道延伸に伴う新たな観光戦略 (3)職員の多言語化育成 (4)観光案内看板等の多言語化 (5)移動宣伝カーについて提案		





一般質問

学校給食センター  
調理等業務委託に  
ついて



弘川 貴紀

**質問** 調理等業務を来年2学期から民間に委託することが決定したが、その背景は。

**答弁** 政策経営部長

以前より将来的な民間委託を見越して、退職不補充とし、具体的な検討をしてきた。国の委託シェアも61・9%で、県内も5市6町で実施している。計画に基づき今年度方針決定した。

**質問** 業務分担はどうなるのか。

**答弁** 教育部長

委託する業務は検収作業、調理業務、配送車への積込、洗浄・清掃である。また、本市が引き続き担う業務は献立作成や食材の購入・確認ひいては食育の指導、地産地消の推進など学校給食の根幹は教育委員会が責任をもって行なう。

**質問** 職員の処遇は。

**答弁** 政策経営部長・教育部長

正規職員は市内6園ある公立保

育園に9月から配転となり、臨時職員は民間事業者にとっても貴重な人材となると思うので継続的に雇用していただくことが望ましい形と考える。

職員採用試験について

**質問** 今年の結果は。

**答弁** 総務部長

合格者は過去20年で最も多い24名だった。7職種10試験区分で行なったが倍率は全体で4・6倍で、特徴として採用予定人数が多かった事もあり、民間企業・公務員枠を設けた。

**質問** 本市も多様な人材を確保しようと工夫しているが、他市が行なっている一次試験を免除した情熱やスポーツ芸術枠、地元校長推薦枠を考慮してみたらどうか。

**答弁** 市長

現時点では最低限の基礎知識は必要であるため一次試験は撤廃するつもりはないが、特別枠については配点・配分を考慮して、その時々々の社会情勢で検討はしていく。

平成30年からの水  
田農業方針と暗渠  
排水について



松尾 雅宏

**質問** 平成30年から国による生産数量配分が終了するが伊万里市はどの様な水田農業を描くか。

**答弁** 産業部長

平成30年以降も国は目標数量こそ発表しないものの生産の目安が提供されます。その生産の目安をもとに、県から配分があると考えますので、伊万里市も農業再生協議会の決定通り行う事となります。

**質問** 生産調整が国の関与なく実施する事が出来るのか心配ですが、そうなること殊更「戦略作物」が重要になると思われますが、「戦略作物」を栽培する上で最も大事な事は何かと思いませんか。

**答弁** 産業部長

水田の乾田化と考えます。  
**質問** その乾田化には暗渠排水が必要ですが、先の新聞に排水事業の補助金が半減とありましたが、その影響はありますか。

**答弁** 産業部長

現在は「農業基盤整備促進事業」で国

らの補助金10a当たり15万円を施工主に交付していますが、工法ごとに見直す様指示があり、トレンチャー工法は半減されました。

伊万里地区はバックホー工法でしたので、今年まで削減はありません。

**質問** 県でも佐賀の水田農業に暗渠排水は不可欠であり、知事も農家負担も考え

市町村と話し合いながら対応すると議会が答弁されています。伊万里市はどうするのですか。

**答弁** 市長

戦略作物を安定的に栽培するには、暗渠排水は不可欠と考えます。農家負担も考慮し伊万里市も県と共に新たな事業に、しっかりと取り組んで参ります。

**質問** 低平地水田の乾田化には、クリークの水を、強制排水しなければ暗渠排水の効果ができませんがポンプを動かすには規制があり、自由に使えません。県との協議で農作物に浸水の恐れがあるときには事前に動かせるようにはなりませんか。

**答弁** 市長

ポンプ場は市で管理するのが3施設、県で6施設管理されています。又、稼働基準につきましては、河川の流域や地形状況によって定められています。なので施設毎に異なっていると思われま

しかし、議員質問の通り現存するポンプ場ですから、その稼働要領については農作物浸水を踏まえ検討頂く様県に働きかけます。

※ 1 戦略作物=食料自給率向上を図ることを目的として交付金の対象となる作物(麦、大豆、飼料作物、WCS用稲、加工用米、飼料用米、米粉用米)

※ 2 暗渠排水=水田に穴の開いた管を埋設し、必要なときに乾田化するための方策

一般質問

厳しい予算！  
市内小中学校の現状



山口 恭寿

**質問** 市長が高校生議会の時に発言したトイレ元年の意味は。

**答弁** 市長

松浦小、大坪小、伊万里湾大橋球場、牧島運動広場を計1億円くらいかけてトイレの改修・新設を行う。

**質問** 昨年電子黒板の配置率100%になったが、多くの小学校にはデジタル教科書が配置されていない。

**答弁** 教育部長

出来るだけ早く計画的に導入効果が高い教科から整備を行って行きたい。

**質問** 市内多くの小中学校では本来、市の予算で対応すべき学校施設の維持管理や消耗品代など、育友会費やバザーの収益で対応している。学校配当予算を拡充するか、校長裁量予算制度を新設する必要があるのでは。

**答弁** 市長

厳しい現状は理解している。実際に現場でどのくらい予算が必要なのか、聞き取りを行いたい。

減り続ける伊万里市の人口!!!

減り続ける  
伊万里市の人口!!!

**質問** 昨年策定された伊万里市人口ビジョンでは平成25年の出生率2・11の維持を前提に平成72年に人口規模4万6千人程度の維持を目指してある。しかし、出生率2・11の原因が何かわからない事には、対策が取れないと思うが、伊万里市の高い出生率の原因は何か。

**答弁** 政策経営部長

はつきりした理由はわからない。

**質問** 移住・定住奨励金事業が始まるが、移住者で伊万里市に新築を建てる際、有田町や松浦市と同じ100万円の奨励金では、メリットにならない。もっと増額するべきではないか

**答弁** 政策経営部長

来年1月から始まる事業なので、様子を見たい。

実際に現場でどのくらい予算が必要なのか、聞き取りを行いたい。



伊万里市職員の  
健康管理について



前田 邦幸

**質問** 年間の残業時間の現状について。

**答弁** 総務部長

総務部・13、554時間（66人、1人当たり205時間）。政策経営部・6、134時間（27人、1人当たり227時間）。市民部・13、650時間（126人、1人当たり108時間）。産業部・4、251時間（30人、1人当たり142時間）。建設部・4、718時間（46人、1人当たり103時間）。水道部・2、827時間（25人、1人当たり113時間）。

**質問** 残業時間が昨年度よりも多くなった課は。

**答弁** 総務部長

情報広報課・企画政策課・農業振興課・福祉課・長寿社会課が増えている。

増えている理由は、新しい事業や、高齢社会の対応によるものと思われる。

雇用主としての職員の健康管理に対する考えは。

**答弁** 市長

心身共に健康で仕事が出来るように、定期健診を行い、再検査の人には、早く受診をする様に指示を出している。

市道の維持管理について

**質問** 交付金を活用して維持管理をされている様だが。

**答弁** 建設部長

27年度は、佐賀県核燃料税交付金（7,500万円）を充当している。

**質問** 道路維持管理費には、毎年の財源確保が必要だが。

**答弁** 建設部長

市の財源も厳しい中、国の制度事業に申請し、いわゆる道路整備交付金等を活用し、通学路整備や橋梁整備に活用していきたい。

**質問** 市道における占用者（水道・下水・ガス等）の工事後の路面の沈下等における道路管理の指導は。

**答弁** 建設部長

原因が明らかに業者の原因であれば、速やかに補修工事を行うよう指導している。

地元からの通報や道路パトロールにより、安心して道路を利用出来るよう努めていきたい。

一般質問

蛍光管、乾電池などの  
分別回収について



船津 賢次

**質問** 蛍光管や乾電池は各町公民館に設置されている専用の回収容器となつているが、公民館まで遠い人や高齢者、障害者には大変だと思われる。改善の考えは。

**答弁** 市民部長

今後高齢化が進み排出困難な高齢者が増加することが考えられるので各町公民館の他に各地区に収集拠点を設けることを検討したい。

**質問** ビンのキャップは取り外して出すことになつているが、ビンとキャップが一体になつているものが多くなつており、これはなかなか取り外せない。この取り扱いはどうされているか。

**答弁** 市民部長

どうしても取り外せないビンのキャップについては、そのまま赤袋に入れて出してもらつていい。

市営駐車場の駐車料金の引き下げについて

**質問**

「無料駐車場又は格安の駐車場」がほしいという要望があった。その方は車での遠出は困難だから、駅前駐車場などに車を駐車し、そこから「公共交通機関」などを利用している。その時の駐車料金が負担になる。ということだった。高齢者の外出支援として、こうした高齢者の要望には積極的に応えていく必要があると思うが。

**答弁** 市長

高齢化社会に向けた高齢者の外出支援として、市にできること例えば駐車料金の引き下げ、無料化。いまりんバスのシルバー回数券の発行などを検討したい。

財政健全化判断比率の改善とその要因について

**質問**

財政健全化判断比率中、実質交際費比率と将来負担比率が改善されているが、その要因は。

**答弁** 政策経営部長

平成19年度と比較すると平成27年度は地方消費税交付金、臨時財政対策債が約2倍になり、9億円増えている。また、元利償還金も国の経済対策としての交付金を企業会計への繰り出し金にあてたことなどで7億円減少した。

伊万里市の観光戦略について

中山 光義

**質問** 西九州自動車道が来年度は南波多府招まで延伸する。今、新たな観光戦略を立てる必要があると考えるが、どのような戦略を考えているか。

**答弁** 市長

集客力の多い農産物等の大型直売所に伊万里牛のバーベキューコーナーを絡めた、新たな道の駅構想等を関係機関と協議をしている。

**質問** グローバル化に対応するための市職員の研修、外国語採用について。

**答弁** 総務部長

職員研修については、市町村アカデミー研修等に職員を派遣している。また、採用については、面接等で十分配慮していきたい。

**質問** 外国人観光客の増加に伴う観光看板等の多言語化について、その施策は。

**答弁** 政策経営部長

今年度観光パンフレット等の英語、韓国語、中国語版を増刷するとともに、伊万里駅ビル内に誘導

サインの多言語標記や多言語による液晶ディスプレイの設置を予定している。今後も外国人観光客が滞在しやすい観光地に繋がるよう取り組んでいきたい。

**質問** 「いまりんモーモちゃん」シールを観光バスに貼って頂き、広く県外に市をアピールすることが出来る「観光バス移動宣伝カー」を取り入れることは出来ないか。

**答弁** 産業部長

「いまりんモーモちゃん」シールによる宣伝効果はあり、安価での費用対効果も十分あると考える。観光バス会社と協議し進めていきたい。



## 一般質問

高齢社会に向けた  
取組みについて

馬場 繁

## 健康づくりの取り組み

**質問** 特定健診及びがん健診の受診率アップのための対策。

**答弁** 市民部長

一、特定健診では、治療中の方に医師会の協力で受診勧奨。

二、保健指導を充実させ、自分の健康チェックの機会と捉えさせ、受診の継続につなげたい。

三、未受診者に看護師等の家庭訪問や電話による受診勧奨を行い、受診につなげ、一方、がん健診では受診料等を見直し、受け易い環境整備に努める。

**質問** 健康維持増進の取組。

**答弁** 市民部長

食の分野では、食改推進委員の協力を得て生活習慣改善に努め、身体活動分野ではトリム・健康体操等を行っている。

## 高齢者スポーツの推進

**質問** 地域運動広場整備に必要な真砂土が年度の前半で支給されないという聞きが、増額補正や支給方法の見直しを行い対応すべきではないか。

**答弁** 教育部長

一定額を上限に適正な予算執行に努めているが、不足の状況にあり支給限度や支給時期のルール化を検討したい。

## 地域交通の整備

**質問** いまりんバスは市街地線・地域線・郊外線、さらには地域コミュニティバスの運行と順次整備が進んでいるが、松浦町と大川内町は未供用地区であり今後の整備計画は。

**答弁** 市長

これからの超高齢社会は身近な交通手段の確保が必要不可欠と思っている。今後は、地域の実情に即し地域で完結する方法を検討する時期に来ており、未供用の松浦町及び大川内町については路線バスとの問題もあるが、地域の皆様の意向を聞いて対応していきたい。

## 新たな奨学金制度



梶山 太

**質問** 伊万里市においても多種多様な職業が存在していると思うが、その中で人材不足の職業はどうなっているか。

**答弁** 産業部長

現在の労働市場の現状は、アベノミクスによる経済政策効果により、雇用状況は良好となっている。その反面、人材不足の職業もあり、課題となっている。市内ハローワーク管内でも保育士、介護士等の医療・福祉関連は、慢性的な人材不足となっている。

**質問** 新聞報道等でも人材不足が取り上げられている保育士並びに介護士志望者に対して、給付型の奨学金制度を創設し、貧困世帯の就業支援や人材不足に陥っている職業の課題解消、若者の定住促進に繋げてはどうか。

**答弁** 市長

保育士・介護士の奨学金に関して、県の貸付制度がある。しかしながら制度には沢山のハードルもある。

市独自の奨学金制度を考えてしかるべきだと思っている。市が直面する財源の問題があるが、奨学金を貸付けて就職してから返済して貰う方法もある。保育士に限って言えば、伊万里市と市の社会福祉会が協同で無利子にて奨学金を貸し付けはどうかと思っており、今後研究をしていきたい。

## 定住促進（三世代同居）

**質問** 本市も定住促進の取り組みとして、前議会で「地域おこし協力隊」や「空き屋情報バンク」等施策を打ち出しているが、平成27年3月に閣議決定された三世代同居の取り組みを本市でも推進してはどうか。

**答弁** 市長

三世代同居と聞いて昭和33年「チリ地震」を思い出す。祖母から津波が来るから高い場所に逃げろと言われ、高尾山公園に妹と逃げた経験があり、その時まさに「教訓は学校よりも家庭にあり」を実感した。三世代同居については、たぐさんのメリットがあると考える。伊万里市の人口動態を見ても2町が増という現実もある。今後三世代同居は国も推進をしようと思うので、伊万里市としても重点的視点と捉え、本市なりの三世代同居を研究していきたい。

一般質問

高病原性鳥インフル  
エンザの防疫対策



力武 勝範

**質問** 伊万里市における防疫対策はどのようなになっているのか。

**答弁 産業部長**

市は、特定家畜伝染病防疫指針に基づき、発生の予防、まん延防止の為、県が行う家禽の所有者への指導や、発生時に備えた準備に協力することとなっている。

県が定めた、現地対策マニュアルにより、当市で発生した場合は、市役所を県現地対策本部とし、国見台体育館をサポートセンター、養鶏農家近くの公民館を拠点施設とする。また、対策本部への人員配置は、市職員延べ人数281名の人員を配置する。

**質問** 市民への注意喚起が必要ではないのか。

**答弁 産業部長**

市のホームページに掲載し、注意を呼び掛けている。また、ツルが飛来する地域には、看板等を設置し注意喚起を促すようにしたい。

水田の暗渠排水対策について

**質問** 農業基盤整備事業要綱改正により暗渠排水施工の農業者負担が増加することであるが、その内容について。

**答弁 産業部長**

平成28年度までは、農業者が直接施工業者へ施工依頼できたが、平成29年度からは、市が施工主体となり、公共事業と同様競争入札により業者選定を行う。また、定額助成の反当15万円は、本来反当30万円程度の施工費を想定している約二分の一補助を目的としているため、工費の二分の一程度の農業者負担が発生する。

**質問** 暗渠排水施工には、他に基盤整備事業でも取り組むとのこと、その内容と今後の計画について。

**答弁 産業部長**

基盤整備促進事業は、国55%、県15%、市15%、農業者15%の定率補助事業であり、農業基盤整備事業より農業者負担は少なくなり、平成29年度から実施できるよう予算化していく。

国民健康保険制度について



坂本 繁憲

**質問** 県単位の広域化の概要。

**答弁 市民部長**

県が財政運営の責任主体となり、国保の中心的役割を担う一方で、市町は窓口業務や保険証の発行などの資格管理や保険料の賦課徴収等、住民に身近な業務を行い、県と市町の共同運営の形となり、財政運営について、県は医療費を負担する一方、市町ごとに県へ納付させる納付金を決定する。

その際、併せて、市町が納付金を賄えるよう、市町ごとの標準保険料率を示し、それを受けた市町は、市町ごとに税率を決定し、それを基に賦課徴収をして、県へ収める流れになる。

**質問** 赤字解消対策。

**答弁 市民部長**

現在9億1300万円の累積赤字解消に対し、健全化基金と県からの借入れでも3億円ほど不足する部分については、庁内の福祉

基金などの財源で対応できないか、協議を進めている。

**質問** 保険税滞納状況。

**答弁 総務部長**

平成25年度末で、5億24万円／2,314人。平成26年度末で4億3,541万6千円／2,015人。平成27年度末で3億7,574万6千円／1,785人となっており、この2年間で1億2,49万4千円が減少している。

さが西部クリーンセンターについて

**質問** さが西部クリーンセンター概要。

**答弁 市民部長**

1日あたり処理能力205トンであり、本年1月〜10月までに、全体で46,710トンが処理されており、本市からは、11,601トンが搬入され、全体に占める割合は24.8%となっている。

**質問** 30・10運動について。

**答弁 市長**

本市としても、全国協議会に加え、市民に呼びかけ、市民と一緒に30・10運動を展開して行きたいと思うので、議会・議員も協力してもらいたいと思う。

一般質問・編集後記

伊万里駅バス停の  
ロータリー内移設  
問題について

笠原 義久

**質問** 移設問題の方向は、その後どのようになっているか。

**答弁** 政策経営部長

コスト面、安全性、出入りのバスの便数増等を考えると、このままの状態をやむを得ない。

**答弁** 市長

本来バスセンターがあるべきだが、駅周辺開発後廃止になったので、その位置付けがされていない。

城山公園の整備改修について

**質問** 城山公園は昔から市民の憩いの場として又、歴史的文化的観光面でも重要な場所と理解をしているが、今後整備改修の計画はあるか。

**答弁** 建設部長

今日まで都市公園の観点だけでやって来た。今後は産業部や教育委員会と連携をして色々な角度から協議をして検討していく。

**答弁** 市長  
取り急ぎ植栽の剪定から。

博物館美術館のその後

**質問** ミュージアム建設プロジェクトチームの答申内容は。

**答弁** 政策経営部長

研究調査をし、市民の意見も聞いたが、財政上の問題もあり今後検討する。

**質問** 時間の区切りとして確かな答えを博美会に伝えるべきだと考えるが。

**答弁** 副市長

土地購入からすると10億円程度の予算を必要とし、既存の公的施設や民間の物件を含めて利活用する案を博美会には伝えた。



編集後記



新年をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。平成29年が市民の皆様にとりまして素晴らしい年でありますようお願いいたします。

さて今年も酉年です。酉年は取り込むに繋がりが「商売繁盛で実りある年」「より積極的に活動できる年」と言われています。

私たち議員も一年間実りある、積極的に活動する議会活動になればと願っています。

さて、昨今、全国的に「議会改革」が言われていますが、真の改革とは何かと考える時が多々あります。

議会の改革とは・・・まず自己改革、自己の意識改革が無ければ到底議会全体の改革には結びつかないのではないかと。

そして、真の政治を行う必要があると考えています。

初当選の初心を忘れず、今年の干支「酉」に負けないよう、綺麗な声を響かせながら、素晴らしい年であったといえるような一年になればと願っています。

(中山光義)



編集委員長 井手 義弥  
編集副委員長 岩崎 孝夫  
編集委員 香月 繁憲  
坂本 光彦  
中山 敏彦  
前田 勝範  
力武 勝讓  
草野 繁  
多島 久

発行 伊万里市議会  
伊万里市立花町一三五五-1  
0955-23-2594  
0955-23-1277  
E-mail: gikai@city.imari.lg.jp  
編集 市議会だより編集委員会  
印刷 山口印刷株式会社